

# Stereo

オーディオの総合月刊誌 ステレオ

2015  
February

2

特別付録1 究極のオーディオチェックCD2015

特別付録2 別冊「究極のオーディオチェックCD2015徹底解説」

特 集

保存版!本誌筆者が選ぶ

## 「2014年のベスト5ディスク」

特別企画

「高級ヘッドフォンアンプを追いかけろ!  
~最新の10モデル試聴レポート」

●オーディオクラフト・FE-103-Sol使用クラフト例

Phasemation CA-1000

-32

MUTE

6 0 +6



特別  
企画

# 高級ヘッドフォンアンプを

# 追いかける！

最新の10モデル試聴レポート 鈴木裕／田中伊佐資

まず強調しておきたいのは、ヘッドフォン再生が決してやむを得ずの手段ではないということだ。「大きな音が出せないから」「大きなシステムを組むスペースがないから」という理由がきっかけだったとしても、踏み込んでいけばそこにはスピーカーでは追いつけない至福の音世界が、あなたのためだけに広がっている。ここではそんな世界を押し広げる積極的存在と言える高級価格帯（10万円以上）のヘッドフォンアンプを10機種ピックアップ！試用&レポートを行なう。

高級ヘッドフォンアンプを追いかけろ!

## パイオニア U-05 ¥105,000

### Profile

DAC部はESS製8ch DACを各チャンネル独立で搭載しパラレルで駆動。D/A変換からヘッドフォン出力まで、左右独立型の完全シンメトリフルバランス回路を採用して外乱ノイズの影響の排除を図る。デジタル入力端子は6系統装備と豊富で、USB入力はDSD=2.8M/5.6MHz、PCM=384kHz/32bitまで対応。メインボリュームに加え、さらに微細な音量調整を可能とする「ファインアジャスト・ボリューム」も装備されている。



(主な仕様) ●デジタル入力:USB(Type B)×1、RCA×2、XLR×1、TOS×2 ●アナログ出力:ヘッドフォン×3(6.3φ標準、3ピン型バランスXLR、4ピン型バランスXLR各1)、RCA×1、XLR×1 ●出力(32Ω):180mW+180mW(6.3φ標準)、300mW+300mW(バランスXLR3/XLR4) ●対応インピーダンス:160~600Ω ●周波数特性:4Hz~80kHz(-3dB) ●SN比(A-Weight):106dB(6.3φ標準)、113dB(バランスXLR3/XLR4) ●大きさ:296W×101H×271Dmm ●重さ:6.3kg ●問い合わせ先:パイオニア カスタマーサポートセンター ☎0120-944-222、044-572-8102



入力はデジタルに特化し妥協のない設計  
2系統のバランスヘッドフォン端子を搭載

多機能な製品だが、ここではヘッドフォン出力の3つの方式(別項のバランス出力についてを参照)の音についてレポートしておく。まずノーマルのジャックで接続した音。音の背景が静かで音にオーラのようなやわらかさや聴き心地の良さを感じる。音色自体は端正で、高い質感表現力。演奏の温度感をソフトそのままに聴かせてくれる。

「BALXLR4」はゼンハイザー別売のバランスケーブルで試聴。より明瞭な音で、質感の描きわけも1ランク以上向上する。比較すると音に付随する微小なノイズ成分が減少し、見通しが良好に。低域のエッジの立ち方や押し出しの良さ、抜けの良さが素晴らしい。「BALXLR3」はアコースティックリヴァイブのリケーブルで試聴。左右のヘッドフォンの外側にまできれいにサウンドステージが広がり、それぞれの音の重さや、質感、音の勢いといったパラメーターを見事に再現。アコリヴァのケーブル自体もいいが、方式の優位性も感じた。 ●鈴木

## RE·LEAF E1 ¥1,500,000(受注生産)

### Profile

原音に忠実な音場表現と高い解像度の両立を志向し、世界初とされる「Current Drive(電流駆動型)」信号増幅回路を採用。各増幅段に電源をもたせコンデンサーの癖を癒す「4重安定化電源」とあわせ、特許申請中の2つの技術を内包する。超厚銅箔4層基板や航空機グレードのアルミブロック削り出しの筐体も特筆点。DACにはPCM1792Aを採用し、USB入力はDSD=2.8MHz、PCM=192kHz/24bitに対応する。フットは別売のオプションとして用意。 ※試聴には初期デモ機を使用。最終製品ではデザイン、仕様の細部をブラッシュアップし、変更しております(RE・LEAF社)



開発者自らが丁寧な手作業で製作  
特殊技術でヘッドフォン再生の高みを目指す一品

ソニー開発部門出身の中山邦男のブランドの、最初の製品だ。ヘッドフォン側のインピーダンスに影響されない、電流駆動型のアンプ部が特徴。USB入力では低域は若干量感タイプだが、ほっこりとした品のいい感じを生み出している。ジュラルミンの分厚いシャーシに守られて、外界の電磁波から隔絶されたかのような音の世界を展開する。特にハイレゾのヴァイオリンコンチエルトでは、ソロの音色はこのほか艶やかで余韻も長く、きれいに減衰していく。特有の鮮度感の高さとともに、コード感や楽器が鳴り合って醸成されているハーモニー感など、さすがと思わせるものがある。

PCをシャットダウンするか、USBケーブルを抜くとアナログ入力が見えなくなるが、端正な音色感はそのままにアンプ部の駆動力の高さが音として彫りの深さにつながっているのが印象的。余裕は感じさせるが反応自体はとても良く、音色的な深みを持った音を楽しめる製品だ。 ●鈴木



(主な仕様) ●アナログ入力:RCA×1 ●デジタル入力:USB(Type B)×1 ●アナログ出力:ヘッドフォン(3ピン型XLR/バランス/6.3φ標準汎用×2)、RCA×1、ステレオミニ(3.5φ)×1 ●ヘッドフォン出力:20mA(Max)インピーダンス300Ωまで(※300Ωを超えて600Ωまではバランスを推奨) ●周波数特性:20Hz~75kHz ●大きさ:約179W×44.5H×227Dmm(突起含まず) ●重さ:約2.5kg ●問い合わせ先:RE·LEAF E1専用メールアドレス audio@releaf.co.jp

●ヘッドフォンアンプ  
**パーソナルオーディオ** 2014年12月発売  
**Soloist SL** オープン価格/直販¥61,000

- 入力端子：RCA×2 ●ヘッドフォン出力端子：標準ジャック×1 ●対応インピーダンス：16～600Ω ●定格出力：2W×2(16Ω) ●周波数特性：DC～50kHz±1dB ●全高調波歪率：0.03%以下(300.1W出力時) ●SN比：96dB ●大きさ：140W×80H×210Dmm ●重さ：約1.6kg
- ウェブサイト：検索語=アユート (<http://www.aiuto-jp.co.jp>)



**クラス最大級の高出力  
 純Aクラス出力段搭載  
 余裕の大容量電源回路**

ハイインピーダンスや平面駆動型も余裕で駆動可能なクラス最高のパワーを持った純Aクラス出力段を搭載。その出力パワーは16Ωで2W×2。2mm厚のアルミ製筐体を放熱器として使うことで効率的に放熱し安定動作を確保している。電源部には25V Aのトランスを搭載。2段構成のフィルターを設けるなどクリーンで安定した電力を供給している。出力段の動作を2段階に切り替えることで幅広いインピーダンスに対応可能。

●遠藤

●USB・DACヘッドフォンアンプ  
**RE-LEAF** 受注生産  
**E1** ¥1,500,000

- 入力端子：USBtypeB、アナログ=RCA×1 ●出力端子：ヘッドフォン=XLR/TRSコンボ×2、ライン=RCA×1、3.5mmミニジャック×1 ●ヘッドフォン出力：20mA(最大)インピーダンス300Ωまで、300Ω～600Ωはバランス推奨 ●入力信号フォーマット：DSD 2.8224MHz(DoP)、PCM=44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz・16/24bit ●大きさ：179W×44.5H×227Dmm
- ウェブサイト：検索語=re-leaf (<http://www.releaf.co.jp>)



**理想のヘッドフォン駆動追求  
 妥協せず徹底したこだわり  
 作者自らの丁寧なハンドメイド**

ヘッドフォンの駆動に世界初の「電流駆動型」(信号増幅回路(特許申請中))を搭載し、強力なドライブ能力を持たせている。また、電源回路系にも独自技術を採用して徹底した安定化と使用するコンデンサーによる音色への影響をなくしているという。採用されている4層回路基板の銅箔は電源系200μm、信号系100μmと極厚。筐体は航空機グレードのアルミブロックからの削り出し。電源は外部からDC12Vを供給する。

●遠藤

●USB・DAC搭載ボリュームコントローラー  
**フォステクス** 2014年12月発売  
**PC100USB-HR** ¥9,800

- 入力端子：USBtypeB ●ライン出力端子：RCA×1 ●ヘッドフォン出力端子：ミニジャック(対応インピーダンス：32Ω以上、最大出力30mW×2) ●入力信号フォーマット：32/44.1/48/88.2/96kHz・16/24bit ●電源：バスパワー ●大きさ：66W×44H×70Dmm
- 問い合わせ先：フォステクス カンパニー ☎042-545-6111



**ハイレゾ対応DAC搭載の  
 ボリュームコントローラー  
 高級感ある仕上げに変身**

本機は2011年に発売されたPC100USBをベースに、新たに対応信号フォーマットを96kHz/24ビットまで拡張したグレードアップモデル。出力はRCAのライン出力とステレオミニジャックのヘッドフォン出力。電源はUSBバスパワー駆動。外観はシルバーボディと適度な重さを持たせたステンレス削り出しノブに変わり高級感を出している。同社アクティブスピーカーとベストマッチとなる設計だが、幅広い用途に気軽に使える。

●遠藤

●USBオーディオインターフェース  
**ADL** 2014年12月発売  
**GT40α** ¥46,000

- 入力端子：RCA×1(ライン、MM/MC切り替え) ●出力端子：RCA×1、ヘッドフォン(ミニジャック)×1 ●USB端子：USBtypeB ●対応信号フォーマット：44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz・16/24bit(再生・録音とも) ●ヘッドフォン出力：94mW(16Ω)～23mW(300Ω) ●電源：ACアダプター付属 ●大きさ：150W×57H×111Dmm
- 問い合わせ先：フルテック ☎03-5437-0281



**PCでの録音・再生が可能  
 192kHz/24ビット対応  
 フォノイコライザー搭載**

前作GT-40の基本機能を受け継ぎながら、USB・DACを192kHz/24ビット対応までアップグレードしている。アナログソースのPCへの取り込みも同じように192kHz/24ビットまで対応可能。もちろん使用するソフトに依存する。アナログ入力はMM/MC/ラインの切り替えが可能。ヘッドフォン出力は32Ωで110mWを確保。電源はUSBチップのみバスパワー給電。その他の回路は付属アダプターでの供給となる。

●遠藤